

平成 23 年 12 月期 第 2 四半期決算短信（非連結）

平成 23 年 8 月 26 日

会社名 株式会社サンマエデュケーション グリーンシート銘柄
 コード番号 2197 本社所在地 京都府
 本社所在地 京都府八幡市美濃山御幸 1-12
 代表者 役職名 代表取締役 氏名 田中 健一
 問合せ先責任者 役職名 取締役 氏名 城 健太 TEL (0774) 65-4400

1. 平成 23 年 12 月期第 2 四半期の業績（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。

(1) 経営成績

	売上高	営業利益	経常利益
	千円	千円	千円
23 年第 2 四半期	108,864(42.6)	2,069(△86.7)	3,626(△80.4)
22 年第 2 四半期	76,327(-)	15,580(-)	18,517(-)

	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	千円	円 銭	円 銭	%	%	%
23 年第 2 四半期	3,420(△81.5)	1,200 34	—	8.2	6.9	3.3
22 年第 2 四半期	18,517(-)	9,258 57	—	62.1	46.8	24.3

(注) 1. 期中平均株式数 23 年第 2 四半期 2,850 株 22 年第 2 四半期 2,000 株

2. 会計処理の方法の変更 有

3. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在しますが、期中平均株価が算定できないため、記載を省略しております。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産
	千円	千円	%	円 銭
23 年第 2 四半期	50,107	43,554	86.9	15,282 18
22 年第 2 四半期	54,277	39,086	72.0	19,543 28

(注) 期末発行済株式数 23 年第 2 四半期 2,850 株 22 年第 2 四半期 2,000 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
23年第2四半期	△9,752	305	1,000	19,142
22年第2四半期	1,578	99	10,000	15,062

2. 平成23年12月期の業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	228,063	8,181	4,909	—	—	—	0	0

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 1,722円45銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後さまざまな要因により、上記予想数値と異なる結果となる場合があります。

（注）1株当たり予想当期純利益は第2四半期末の発行済株式総数を基に計算しております。

1. 第4期 第2四半期（平成23年4月1日から平成23年6月30日）に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益など一部の景気指標に持ち直しの傾向がみられるものの厳しい雇用情勢やデフレの影響を受け個人消費は、依然低調に推移しております。

このような経済情勢の中、当社は、日本国内における、小中高生の学力レベルの底上げ、個別指導教室シェア拡大を目標に新規出店数を増加させてまいりました。さらに顧客満足度の更なる向上を目指した社員教育とともに、同業他社にない手厚いサポート体制を整えサービス向上に取り組んでまいりました。そのため、運営費用が、昨年度よりも増加しており、売上げが大幅に増加していますが、利益は、減少しております。

部門別の概況は、以下のとおりです。

(a) 学習塾フランチャイズ事業

学習塾フランチャイズ事業におきましては、愛知県1教室、京都府1教室、大阪府1教室、兵庫県1教室新規開校いたしました。また、アントレネットにて、継続して宣伝活動を行い、新規加盟についての説明会参加者も増加しております。

この結果、売上高は、44,003千円となりました。

(b) 学習塾直営事業

学習塾直営事業におきましては、新入生がロコミにて増加し、講師の新規採用を行い、生徒の受け入れ態勢を強化し、生徒数の増加に対応いたしました。また、講師としての質の高い授業を行えるよう、指導講習会などを行い、きめ細かい指導ができるよう勤めてまいりました。

この結果、売上高は、5,154千円となりました。

その結果、売上高49,157千円、営業損失4,201千円、経常損失3,331千円となりました。

2. 業績予想に関する定性的情報

平成23年2月15日付「平成22年12月期 決算短信（非連結）」に公表いたしました予想に変更はありません。

3. 四半期計算書類

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別		当期累計 自平成23年1月1日 至平成23年6月30日	前年同期累計 自平成22年1月1日 至平成22年6月30日
	第4期 第1四半期 自平成23年1月1日 至平成23年3月31日	第4期 第2四半期 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日		
売上高	59,706	49,157	108,864	76,327
売上原価	23,860	27,731	51,591	12,551
売上総利益	35,845	21,426	57,272	63,775
販売費及び一般管理費	29,575	25,627	55,203	48,195
営業利益又は損失(△)	6,270	△4,201	2,069	15,580
営業外収益	743	870	1,613	2,957
営業外費用	56	—	56	20
経常利益又は損失(△)	6,957	△3,331	3,626	18,517
特別損失	204	—	204	—
税引前四半期純利益又は損失(△)	6,752	△3,331	3,421	18,517
法人税、住民税及び事業税	—	0	0	—
四半期純利益又は損失(△)	6,752	△3,331	3,420	18,517

(注)

科 目	期 別		当期累計 自平成23年1月1日 至平成23年6月30日	前年同期累計 自平成22年1月1日 至平成22年6月30日
	第4期 第1四半期 自平成23年1月1日 至平成23年3月31日	第4期 第2四半期 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日		
期中平均株式数	2,850株	2,850株	2,850株	2,000株
1株当たり四半期純利益 又は損失(△)	2,369円15銭	△1,168円81銭	1,200円34銭	9,258円57銭
潜在株式調整後1株当 り四半期純利益	—	—	—	—

潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在しますが、期中平均株価が把握できないため、記載を省略しております。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別		当期累計 自平成23年1月1日 至平成23年6月30日	前年同期累計 自平成22年1月1日 至平成22年6月30日
	第4期 第1四半期 自平成23年1月1日 至平成23年3月31日	第4期 第2四半期 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日		
学習塾フランチャイズ事業	50,894	44,003	94,898	57,568
学習塾直営事業	8,812	5,154	13,966	12,092
コンサルタント事業	—	—	—	6,667
合 計	59,706	49,157	108,864	76,327

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別		
	第 3 期末 (平成 22 年 12 月 31 日現在)	第 4 期 第 1 四半期 (平成 23 年 3 月 31 日現在)	第 4 期 第 2 四半期 (平成 23 年 6 月 30 日現在)
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	27,588	19,679	19,142
売掛金	7,487	17,107	13,897
前払費用	1,408	1,408	1,408
未収入金	39	39	39
短期貸付金	7,524	7,524	7,524
預け金	—	300	300
貸倒引当金	△235	△235	△235
流動資産合計	43,814	45,825	42,078
固定資産			
有形固定資産			
車両運搬具	5,181	4,099	3,018
有形固定資産合計	5,181	4,099	3,018
投資その他資産			
長期貸付金	2,589	2,589	2,589
差入保証金	2,509	2,242	1,873
長期前払費用	821	821	821
貸倒引当金	△274	△274	△274
投資その他資産合計	5,646	5,378	5,010
固定資産合計	10,827	9,478	8,028
資産合計	54,642	55,303	50,107

(単位：千円)

	第3期末	第4期 第1四半期	第4期 第2四半期
	(平成22年12月31日現在)	(平成23年3月31日現在)	(平成23年6月30日現在)
(負債の部)			
流動負債			
役員借入金	500	—	1,500
未払費用	1,546	1,375	1,375
未払金	8,379	4,189	—
未払法人税等	361	—	—
未払消費税等	1,926	1,162	1,680
預り金	1,795	1,690	1,997
流動負債合計	14,508	8,418	6,553
負債合計	14,508	8,418	6,553
(純資産の部)			
株主資本			
資本金	34,875	34,875	34,875
資本剰余金			
資本準備金	14,875	14,875	14,875
資本剰余金合計	14,875	14,875	14,875
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	△9,616	△2,864	△6,195
利益剰余金合計	△9,616	△2,864	△6,195
株主資本合計	40,133	46,885	43,544
純資産合計	40,133	46,885	43,544
負債・純資産合計	54,642	55,303	50,107

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	第3期末	第4期 第1四半期	第4期 第2四半期
	(平成22年12月31日現在)	(平成23年3月31日現在)	(平成23年6月30日現在)
発行済株式総数	2,850株	2,850株	2,850株
1株当たり純資産額	14,081円85銭	16,451円00銭	15,282円18銭

(4) 株主資本等変動計算書

第3期第2四半期（自平成22年1月1日至平成22年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本			株主資本 合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金			
		その他利益剰余金			
		繰越利益剰余金			
平成21年12月31日残高	20,000	569		20,569	20,569
第1四半期中の変動額					
第1四半期純利益	—	12,641		12,641	12,641
第1四半期中の変動額合計	—	12,641		12,641	12,641
平成22年3月31日残高	20,000	13,210		33,210	33,210
事業年度中の変動額					
第2四半期純利益	—	5,876		5,876	5,876
第2四半期中の変動額合計	—	5,876		5,876	5,876
平成22年6月30日残高	20,000	19,086		39,086	39,086

第4期第2四半期（自平成23年1月1日至平成23年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本			株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本 準備金	利益剰余金		
			その他利益 剰余金		
			繰越利益剰余金		
平成22年12月31日残高	34,875	14,875	△9,616	40,133	40,133
第1四半期中の変動額					
第1四半期純利益	—	—	6,752	6,752	6,752
第1四半期中の変動額合計	—	—	6,752	6,752	6,752
平成23年3月31日残高	34,875	14,875	△2,864	46,885	46,885
第2四半期中の変動額					
第2四半期純損失	—	—	△3,331	△3,331	△3,331
第2四半期中の変動額合計	—	—	△3,331	△3,331	△3,331
平成23年6月30日残高	34,875	14,875	△6,195	43,544	43,544

(5) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 法人税、住民税及び事業税は既支払額を計上しております。
2. 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、四半期決算書上資産及び負債への計上を省略しております。
3. 貸倒引当金については、四半期の評価は省略しております。
4. 各四半期の減価償却費は年間見積額の1/4に該当する金額を計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、公認会計士等の監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、125千円、税引前四半期純利益は、329千円それぞれ減少しております。

(7) キャッシュ・フロー計算書

区分	注記 番号	第3期第2四半期 (自 平成22年 1月 1日 至 平成22年 6月30日)	第4期第2四半期 (自 平成23年 1月 1日 至 平成23年 6月30日)
		金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前当期純利益		18,517	3,421
減価償却費		2,163	2,163
差入保証金償却		—	125
資産除去債務会計基準の摘要に伴う影響額		—	204
受取利息		△1	△3
売掛金の増加による減少額		△19,422	△6,410
前払費用の減少による増加額		724	—
未払費用の減少による減少額		△3,018	△170
未払金の減少による減少額		—	△8,379
預り金の増加による増加額		689	201
その他		1,927	△546
小計		1,578	△9,393
利息の受取額		1	3
法人税等の支払額		△609	△361
営業活動によるキャッシュ・フロー		970	△9,752
投資活動によるキャッシュ・フロー			
貸付金の回収による増加額		99	—
差入保証金の回収による増加額		—	305
投資活動によるキャッシュ・フロー		99	305
財務活動によるキャッシュ・フロー			
役員借入金の増加による増加額		10,000	1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		10,000	1,000
現金及び現金同等物の増加額		11,069	△8,446
現金及び現金同等物の期首残高		3,992	27,588
現金及び現金同等物の期末残高		15,062	19,142

(注)1 手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資

2 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	第3期 第2四半期	第4期 第2四半期
現金及び預金勘定	15,062千円	19,142千円
現金及び現金同等物	15,062千円	19,142千円

4. その他

該当事項はありません。

以上